

Mナビ TV 情報教育チャンネルでも校内研修!! ~教育DXに関する研修~

MナビTV情報教育チャンネルは、校内研修や個人研修で活用できる短時間で受講可能なライブ配信による研修プログラムです。

令和6年度は、教育DX※に関する研修プログラムを配信し、授業DX※と校務DX※に関する内容（生成AIの活用を含む）を取り上げます。職員会議等の時間を利用して、御覧ください。

※ DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術を用いて変革していくことを指します。単に、アナログで行われていたものをデジタルに置き換えるというだけでなく、デジタル技術を用いて変革させることを目的とします。

配信予定カレンダー (Google カレンダー)

総合教育センター Youtube チャンネル

Mナビ新聞で校内研修!! ~情報活用能力クイズに挑戦~

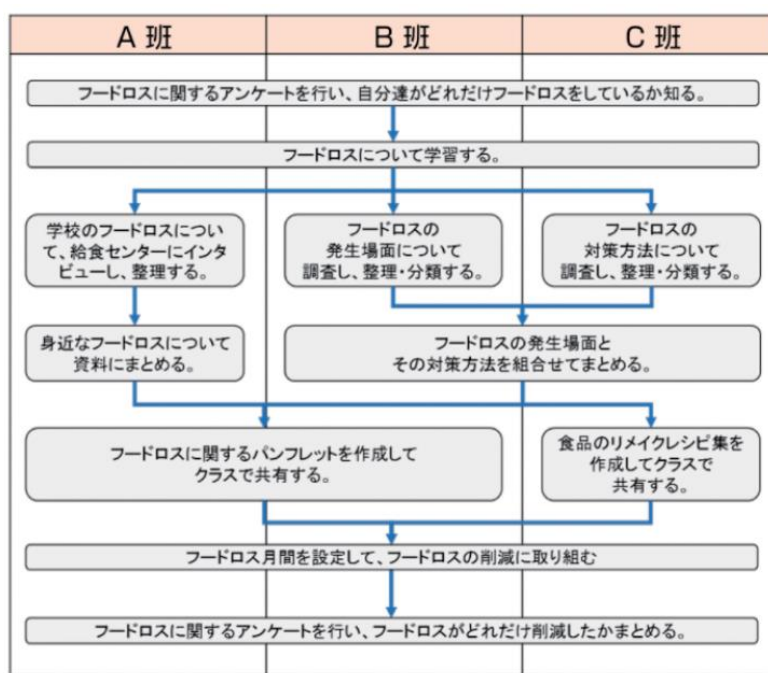
※答えは裏面

今月は、情報活用能力クイズです。皆さんで挑戦してみてください。

文部科学省 情報活用能力調査(令和3年度実施)の問題から出題

真理さんのクラスでは、3つの班に分かれてフードロスの削減をテーマにした活動を行いました。右図はその活動の流れを具体的に表したものです。図から読み取れる内容として適切なものを、次の1から5の中からすべて選びなさい。

- 1 最初に行った活動は、フードロスについて学習することである。
- 2 インタビューの結果を整理した後、身近なフードロスについて資料にまとめた。
- 3 C班はフードロスの発生場面に 대해 調べた。
- 4 A班はフードロスに関するパンフレットを作成した。
- 5 すべての班でフードロスに関するアンケートを行った。



情報活用能力クイズの答え

●正答

A. 正答は、2、4、5と選択しているもの

- × 1 最初に行った活動は、フードロスについて学習することである。
- 2 インタビューの結果を整理した後、身近なフードロスについて資料にまとめた。
- × 3 C班はフードロスの発生場面について調べた。
- 4 A班はフードロスに関するパンフレットを作成した。
- 5 すべての班でフードロスに関するアンケートを行った。

●分析・考察

この問題は、並行処理を含んだ同時処理の図表を読み取り、適切な内容を5つの選択肢の中からすべて選ぶ設問であり、単一選択式でなく複数選択式であるため、消去法によって正答を導くことができない設問といえます。

図表は、3列構成で A～C 班の学習活動が整理されています。この問題を正答した児童生徒は、A～C 班が同時に個々で異なる学習活動を行ったり、A～C 班のうち1班だけが異なる学習活動を行ったりするような並行処理の表現を含む図表を適切に読み取り、正しい説明と誤った説明とを弁別できるまでに全体の流れを理解できていたものと考えられます。また、児童生徒は、活動の流れが口頭説明や文章ではなく図式化して表現された場合でも、活動の全体像を適切に、過不足なく読み取ることができているものと推測されます。

表 解答類型と正答率

類型	内容	正誤	割合 (小学校)	割合 (中学校)	割合 (高等学校)
1	2、4、5と解答しているもの	◎	10.8%	21.0%	28.4%
99	上記以外の解答		85.0%	77.8%	70.8%
0	無解答		4.2%	1.1%	0.8%

文部科学省によると、この問題で誤答した児童生徒で最も多かった誤答は、「2、3、4、5」の組合せて選択したものであり、誤答選択肢3を選択していたことは、C班の活動の列の隣に記載されていたB班の活動と混同してしまった、「発生場面」を同じ並びに書かれていたのを「対策方法」と読み間違えた等の可能性が考えられます。

※文部科学省 情報活用能力調査(令和3年度実施)の調査結果【令和5年3月】を参考に作成

情報活用能力は、基本的な操作等、問題解決・探究における情報活用、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティ等の学習内容によって育成されると言われています。タイピングや文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェア等の基本的な操作、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティが注目されること多いですが、問題解決・探究における情報活用も重要です。様々な学習活動の中で、文章・図表などの情報を適切に読み取れるようにする、複数の事象を分けて読み解けるようにすることができるような機会を増やしましょう。

「情報活用能力調査」の結果から見る指導改善のポイントがまとめられた「情報活用能力育成のためのアイデア集」がありますので、ぜひ御覧ください。



文部科学省
情報活用能力育成の
ためのアイデア集
(令和6年3月改定)

編集後記

今回のMナビ新聞27号はいかがでしたか。令和6年度のMナビTVは「教育DXに関する研修プログラム」を配信します。「Mナビ新聞で校内研修!!」とともに、職員会議等で是非御活用ください。次回号では、長期研修成果物「みやプロGo!」を使った授業実践を紹介します。【第27号担当: 情報教育班 千坂】